



組織現況 2011年8月31日現在

組合員数

25,637人

出資金総額

82,643万円

一人当たりの出資額

32,236円

虹とやま医療生協 虹のまち

2011年10月号 No.342

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8

☎076-441-8351 FAX 076-432-8031

ホームページアドレス

http://www.toyama-hcoop.com/

E-mail webmaster@toyama-hcoop.com

毎月1回発行

定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)

発行 富山医療生活協同組合

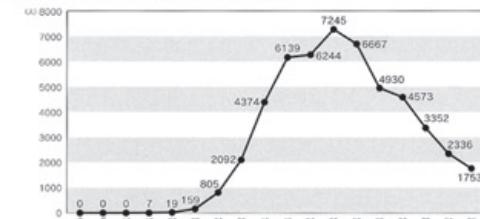
10月は
「ピンクリボン月間」

乳がん検診を 受けましょう

増える乳がん

乳がんは女性のかかるがんの第一位となっています。乳がんになる人は年間五万人、死亡する人は一万人を超え、十六人に一人が乳がんになっています。原因は出産や初潮、閉経の時期、喫煙や生活習慣などがありますが、年齢とともに増えています。他のがんと違い、二〇代でもしばしば発生し、五〇歳前後にピークとなることが特徴です。(図1)

図1 年齢別乳がん推定罹患数(2005年)



「国立がん研究センターがん情報対策センター」資料より日本医療福祉生協連が作成

ピンクリボン運動はアメリカの乳がんで亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込め作ったリボンからスタートしました。

富山協立病院
診療放射線技師
楠原 愛子

欧米など諸外国では、乳がんの死亡率は減少傾向にあります。日本では増え続けています。その大きな原因のひとつに検診受診率の低さがあります。(図2)

近年、上がってきたいるものの、諸外国に比べるとまだ低く、発病者の三〇%が死亡しています。統計的には検診受診率が五〇%を超えると死亡率が低下すると言われ、厚生労働省は「検診受診率五〇%」達成に向けてキャンペーンを実施しています。

それぞれ特徴がありますので、受診の際には、ご相談ください。

低い検診受診率

欧米など諸外国では、乳がんの死亡率は減少傾向にあります。日本では増え続けています。その大きな原因のひとつに検診受診率の低さがあります。(図2)

近年、上がってきているもの、諸外国に比べるとまだ低く、発病者の三〇%が死亡しています。統計的には検診受診率が五〇%を超えると死亡率が低下すると言われ、厚生労働省は「検診受診率五〇%」達成に向けてキャンペー

検査方法は?

乳がん検診にはマンモグラフィーと超音波検査があります。マンモグラ

フィーは微細な腫瘍の発見や過去の検診結果との比較をする上では有用です。

しかし、乳腺もがんも白く映るため、乳腺の多い二〇歳～三〇代では発見しにく

いこともあります。(図3)

超音波検査は放射線を使

用しないので、妊娠中の女

性でも検査可能で、若い女

性向きですが、微細な腫瘍

の発見や過去との比較では

マンモグラフィーの方が有

効です。

それぞれ特徴があります

ので、受診の際には、ご相

談ください。

検診で見つかった人の方が臓器への浸潤やリンパ節転移の割合などが低く、乳がんは早期発見で九〇%は治ると言われています。国も自治体も特定健診と併せてがん検診受診を勧めてい

ます。受診券の受診期間は

(富山市は十二月まで)、ま

だ受診していない方は市町

村の受診券、クーポン券を

活用して受診しましょう。

検診で見つかった人の方が臓器への浸潤やリンパ節転移の割合などが低く、乳がんは早期発見で九〇%は治ると言われています。国も自治体も特定健診と併せてがん検診受診を勧めてい

ます。受診券の受診期間は

